

アパート「トキワ荘」を回想する展覧会の会場風景―東京の豊島区立郷土資料館



東京で「トキワ荘」展

手塚治虫、寺田ヒロオ、藤子・F・不二雄(高岡市出身)、

石ノ森章太郎の今は亡き四人の有名漫画家が下積み時代を過ごした東京都豊島区のアパート「トキワ荘」を回想する展覧会が、同区西池袋の豊島区立郷土資料館で開かれてい

―手塚、藤子・F氏らの青春を回想―

築された木造モルタル二階建てのアパート。五四年ごろから新人漫画家が住み始め、六年までには赤塚不二夫さんや藤子不二雄(ア)さん(氷見市出身)を含む十数人が漫画創作の拠点にした。八二年に老朽化のため取り壊された。

展示で注目されるのは、「トキワ荘」の天井板や床板、ふすまなど。さらに、手塚さんが「トキワ荘」の自室を藤子さんらに譲った後、三年間身を寄せた別のアパート「並木ハウス」の思い出の品々…。家主が保管していた手塚さんの下書きやレコード箱、バケツ、はんでんなどどれも貴重だ。

また、藤子不二雄(ア)さんの当時の日記を参考に、新人漫画家たちが通った周辺の映画館、喫茶店、レコード店などを二万分之一の地域地図にマーク。「トキワ荘の漫画家たちの生活・文化圏マップ」として紹介している。

二十四日まで。担当学芸員による展示説明会もある。入館無料。休館日は月曜日、祝日、第三日曜日。同資料館は、電話03(3980)2351。